

# 「世界水準の価値創造空間」「世界の北海道」について

## 北海道開発の将来展望に関する有識者懇談会（座長：田村亨・北海道大学大学院教授 H25.11～H26.12）

- 中長期的（おおむね2050年頃まで）に目指すべき北海道の将来像等について検討
- 懇談会では、「**新しい稼ぎ方のモデル**が問われている」「北海道の**ブランド力を経済力に結びつける**知恵が求められている」「農水産物を**付加価値を高めて**出していく必要がある」「**国際的な貢献**の視点を入れる」等の議論があった。
- 食料品の輸出額**や北海道を訪れる**外国人観光客**が増加し、食や観光のポテンシャルが具体的な成果に現れてきた。（H25北海道からの食料品の輸出額582億円、H25年度訪日外国人来道者数115万人）
- 我が国は人口減少が進むが、世界は人口増加が予測され、世界市場が広がる。（日本：2008年12,808万人→2050年9,708万人 世界：2010年約69億人→2050年約96億人）

これらを踏まえ、「**世界市場に目を向ける**」「**付加価値を高めていく**」という意味合いで、とりまとめにおいて、**中長期的（おおむね2050年頃まで）に目指すべき北海道の将来像**の1つとして「**食と観光で世界水準の価値創造**」を提げた。

## 北海道開発分科会 計画部会（部会長：大内全・北海道経済連合会会長）

- 第1回部会（H27.2）の主な視点・論点において、将来展望に関するとりまとめ「**食と観光で世界水準の価値創造**」を踏まえ、**2050年を見据えた「世界水準の価値創造空間」の形成**を目指していくことを、**新たな開発計画のビジョン**と位置付けることを提示。
  - ・ビジョンとは、目指す将来の姿。
  - ・人口減少時代にあって、人的資源への着目が重要であることから、**人々が北海道を舞台に、食・観光を始め様々な分野で、新たな価値を活発に創り出していくような地域社会**をイメージ。
- 第4回部会（H27.6）の中間整理（素案）において、ビジョンの「**世界水準の価値創造空間**」の注釈に「**世界的なブランド力・価値創造力を持つ地域**」を記載。
- さらに、第7回部会（H27.11）の計画部会報告（案）において、ビジョンの「**世界水準の価値創造空間**」の注釈に「**世界の人々に評価される**」ものであることを追記。

## 北海道価値創造パートナーシップ会議 in 札幌（H27.3）

- 「**何を持って価値とするか。生産性を上げて所得を豊かにすることが価値なのか、暮らしやすさとしての価値を表現していくのか、北海道として表現したい価値をもう少し分析すると、道民に伝わるのでは**」との意見等を踏まえ、

### 「価値創造力」について

- **新製品・新産業を生み出し、地域に稼ぎを生み出す力**
- **社会が直面する課題に対し、新たな解決策を提案・実行する力**
- **新たなライフスタイルを実践し、人々の生き方・暮らし方を変えていく力**

などが含まれることを明示し、「**価値**」は、「**稼ぐ**」だけではなく、**世界に通用する水準の新しい価値**を幅広く指すこととした。

- 「**世界水準の価値創造空間の形成**」というビジョンを、**道民に向けたキャッチフレーズとして「世界の北海道」として表現**

## 北海道開発分科会（分科会長：奥野信宏中京大学理事）

- 第16回分科会（H27.8）において、
  - ・「我が国全体に如何に貢献するかという観点で、「世界の北海道」を目指すことについては支持したい」
  - ・「『世界の北海道』を掲げ、国際ブランドの確立を図ろうという考え方は時宜を得ている」等、賛同。

北海道総合開発計画（H28.3閣議決定）に位置づけ（次ページ）

## 第2章 計画の目標

### (今後の北海道開発の在り方)

日本列島の最北端に位置する北海道は、日本海、オホーツク海及び太平洋の三つの海に面し、長い海岸線を有する北の国境地帯である。ロシア極東地域に隣接するとともに、北米及び東アジアの結節点という要衝を占め、我が国の北方の要石であると同時に北の玄関としての役割を果たしている。

夏は欧州並みに冷涼、冬は積雪寒冷な気候の下、北海道には、美しく明瞭な四季の風景がある。広大な農地、豊富な水産・森林資源に加え、良質で豊富な水、風力等の再生可能エネルギー源といった資源にも恵まれている。

北海道の広大な大地や豊かな自然環境では、古くからアイヌの人々が独自の文化や伝統を育み、明治以降の開拓の歴史においては、人々の挑戦の舞台となるフロンティアを提供してきた。

加えて、北海道には、食・観光を始め、これまで蓄積されてきた豊富な地域資源とそれに裏打ちされたブランド力があり、国内外の人々を引きつけ続けている。

本格的な人口減少時代にあっては、「人」こそが資源である。今後の北海道開発においては、上記のような北海道の地理的・歴史的・自然的特性を活かし、人々がその個性を最大限に発揮して、**経済的・社会的課題に対する創造的な解決**、いわば**新たな「価値」の創造**が活発に行われる地域社会を形成していくことが必要である。北海道には、個々人の挑戦を受け入れ、活躍の舞台を提供するポテンシャルがある。

とりわけ、グローバルな競争の激化が見通されるこれからの時代にあっては、**北海道の豊かな自然環境や暮らし、文化等に根ざしつつ、世界に通用する水準の価値創造を目指し**、北海道全体が**世界のフロンティアとして先導**する気概を持って、世界との競争と連携に挑戦していくことが、地域の発展と我が国全体への貢献を果たすための鍵となる。

こうした観点から、「**世界の北海道**」をキャッチフレーズに、地域の発展と我が国の課題解決に貢献するため、「**世界水準の価値創造空間<sup>5</sup>**」の形成を目指していくことを、**2050年の長期を見据えた新たな計画のビジョン**とする。

### (計画の目標)

この計画では、「世界水準の価値創造空間」の形成に向けて、人々の夢や希望が花開く大地を次世代に引き継ぐため、次の3点を目標として設定する。

- (1) 人が輝く地域社会 (略)
- (2) 世界に目を向けた産業 (略)
- (3) 強靱で持続可能な国土 (略)

脚注5 世界水準の価値創造空間：世界的なブランド力・価値創造力を持ち、世界の人々に評価される地域となることを指す。